

労働時間管理で働き方改革 ～勤務間インターバルの導入～

学校法人 修栄会

認定こども園 きたの学園

吉野郡大淀町 労働者50名
(男性3名、女性47名、うちパート35名)
認定こども園



<取組のきっかけ>

職員の業務効率化、労務コンプライアンス対策、園の防犯対策のため、昔ながらの手書きの出勤簿と登園簿を廃止し、ICカードによる時間管理を検討していたところ、労働局の助成金の存在を知り、活用することにした。

<取組内容①> 休息期間11時間以上の勤務間インターバルを導入

勤務間インターバル制度とは？

勤務終了から次の勤務の開始までの間に、一定の休息期間（インターバル）を設けるという制度です。

従業員がワーク・ライフ・バランスを保ちながら働き続けることができ、その導入に取り組む中小企業には助成金が支給されることから、注目を集めています。



<奈良労働局の助成金>

時間外労働等改善助成金（勤務間インターバル導入コース）

検索

労働時間等の設定改善を図り、過重労働の防止のために「勤務間インターバル」の導入に取り組んだ際に、その実施に要した費用の一部を助成します。就業規則や労使協定の作成、労務管理担当者研修、労務管理用機器の導入、労働能率向上のための設備・機器の導入等が支給対象となります。

（詳細は、奈良労働局 雇用環境・均等室にお問い合わせ下さい。）



幼稚園と保育園のメリットを兼ね備えた大淀町唯一の「認定こども園」

7時～20時までの長時間保育と幼稚園型の教育を提供している。

<取組内容②> 職員用・園児用の I C カードとカードリーダーを導入



防犯対策のため、園の入口にカードリーダーを設置。あらかじめ I C カードを配布された職員・園児以外は出入りできないシステムになっている。

事務所前の受付端末にカードをかざすと、職員の出退勤時刻、園児の登降園時刻が 1 分単位でシステム上に記録される。

I C カード導入のメリット

- ①適正な時間管理 → 1 分単位で正確かつ客観的な出入時刻が把握できる。
- ②業務の効率化 → 出勤簿の手書きが不要。給与計算事務の省力化・迅速化。
- ③職員の意識変化 → 労働時間を意識した働き方を進めようとする意識が芽生える。
- ④セキュリティ強化 → 防犯性の高い安全・安心な園を P R。
- ⑤保護者満足度向上 → 登園簿の手書きが不要となり、保護者からも好評。

<取組内容③> 書類作成業務に i p a d を活用



これまで手書きで行っていた書類作成業務（指導計画書・業務日誌・保護者への手紙の作成など）に i p a d を導入。

i p a d の発話入力、例文・定型文、コピー&ペースト機能などを活用し、職員の負担が大幅減少。業務の効率的につながった。

副園長の多田さんによる職員研修の様子。新しい機器をスムーズに使いこなすためには、職員教育が必須！

<園長 西尾あかねさんからのコメント>

I C カード導入費用の一部が労働局から助成され、大変助かりました。

出勤簿の書き忘れ、あいまいだった遅刻・早退・残業の問題が解消され、労働時間に対する職員の意識改革にもつながりました。

給与計算もすごく楽になりました。毎月、職員 1 人 1 人に手計算でもらっていた労働時間の集計作業と、私が行っていた全職員分の労働時間の入力作業が不要になったため、これまで 1 週間以上かかっていた給与支払業務が、たったの 2 日間に短縮できました。

効率的に仕事を進めることで、これからもより良い園作りに励みたいと思っております。